Regular assembly report

9月・12月定例会報告　主な質問に対する知事・県の見解

一般質問の答弁より抜粋して編集しました

General question

防災ヘリコプター墜落事故について

埼玉県防災航空隊は他県に先駆けて平成３年４月に運航を開始し、発足当初から24時間体制で活動してきました。現在でも、職員が常駐して災害に備えている航空隊は、本県の他には東京都と宮城県だけです。

平成８年８月からは２機体制をとり、１年365日・24時間体制で運航可能としました。北関東の近隣県はみな１機体制のため、２機体制である本県への応援要請が多く、埼玉県がまさに北関東の防災航空の要となっています。

さらに、平成21年７月からは夜間のドクターヘリコプター業務を開始するなど、本県の防災航空隊は常に全国をリードする存在となっています。

しかし、今回「あらかわ１」が墜落し、尊い５名の方の命が失われてしまいました。誠に痛恨の極みであります。謹んでご冥福をお祈りいたします。２度とあのような事故を起こさないために、現在、消防関係者のほか県警や自衛隊、山岳関係者、医療関係者から意見を伺い、「山岳救助活動ガイドライン」の作成を進めています。このガイドラインも、単に本県の山岳救助活動にとどまることなく、全国すべての防災航空隊の活動の基準になるよう、関係者の英知を結集して全国に誇れるものにします。

また、殉職された５名の方々の志に応えるために、そして718万県民の暮らしの安心・安全をしっかり守るために、後継機として、より性能の優れた中型機の導入など、さらに強固な体制の確立を約束いたします。

本県は県が機体を購入し、市町村消防が隊員を派遣し、民間会社が操縦や整備を担当する運航方法をとっています。パイロットを民間委嘱しないで県職員として雇用できないかとのご意見もありますが、ヘリコプターのパイロットは機種ごとに操縦免許の取得が必要で、新たにパイロットを雇用する場合、免許の取得に２〜３カ月の期間と、１人当たり約1,500万円の経費が掛かり、また、操縦技術の習得はもとより、災害活動手法の熟知や隊員との連携、埼玉県の地理や地形の把握など、副操縦士として半年以上の訓練も必要です。さらに、365日・24時間体制で運航するには、最低でも10名程度のパイロットが必要となります。以上のことから、パイロットを県職員として雇用することには多くの課題があり、メンテナンスの重要性からしても、機体の操縦、整備、格納を一体として本田航空に委託できることは、本県にとって大きなメリットです。

アグスタ式　AW139型

取得予定金額　14億8,995万円

「あらかわ1」の後継機として内定した中型双発機です。

全長　16.66m

出力　3,358馬力

座席数　17席

（写真はどちらも、導入予定の機種と同型機です）

自民党が議員提案

「埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例」

平成22年7月25日、秩父市大滝で、遭難者の救助に当たっていた防災ヘリコプター「あらかわ1」が墜落し、5名もの尊い命が失われました。

今後こうした痛ましい事故が二度と起こることのないよう、早急に必要な措置を講じ、防災ヘリコプターの適正な運航を確保するため、防災航空隊の緊急運航業務に関する条例を提案しました。

主な内容は、

◎ 総合運航規程を定め、必要な体制の整備と十分な訓練で安全を確保する。

◎ 緊急運航業務の要件及び地理・地形・気象状態等の事前調査とデータ化。

◎ 現場状況や気象状況の悪化等により知事の判断で、帰投命令・活動停止命令を発することができること。などを柱にしています。

また、附則として、山岳遭難発生抑止の観点から、緊急運航に要した費用の遭難者等による負担他の方策について、早急に対応することを求めました。

《ヘリコプター運航に係わる資料》

全国の山岳遭難発生件数（7〜8月のみ）		埼玉県の防災航空隊の出動件数（1年間）
平成21年	平成22年	平成21年
409件	530件	465件（前年度比＋19%）
内､ヘリ出動 298件	内､ヘリ出動 420件	内､山岳救助の出動 29件

「がんセンター」の機能強化について

今や、２人に１人ががんになるといわれる時代。埼玉県でも死亡総数の３割以上をがんが占め、死因の第１位となっています。

がん対策には医師や医療設備などハード面の整備と併せて、患者さんのさまざまな相談や、家族がどのように在宅での治療を進めていくかアドバイスを受けたり、精神的な不安を取り除くための機関が求められています。

県立がんセンターの「相談支援センター」は専任の看護師や社会福祉士を配置し、1日平均50件、年間１万１千件の相談を受けています。また、在宅療養している患者さんに対する療養指導や訪問看護ステーションなどの紹介を年間約380件実施しています。

がんセンター新病院では相談室やセミナー室を増設する他、患者さん自らが最新のがん医療情報を収集できるコーナーも新設し、さらに、専門スタッフが担当医の指示の下、転院先や在宅療養のための医療機関を紹介するなど、地域との連携がより円滑にいくよう相談支援体制を充実させる予定です。

これにより医師の事務的負担を軽減し、より多くの患者さんに質の高い医療を提供できるものと考えています。

がんと闘う元気、勇気がわいてくるような、“日本一患者と家族にやさしい病院”を目指して相談支援機能を強化し、地域に開かれた病院として県民の期待に応えていきます。

知事の「自立自尊の埼玉構築」とは？

以前から私（知事）は「ゆとりとチャンスの埼玉づくり」、空間と心も含めたゆとりと、そして常にチャンスのある、活力のある社会、それを支えるものは、自助、公助、共助だと申し上げてきました。

しかし、この頃は依存に寄り掛かっているのではないか。もっと自分たちに自信と誇りを持って、独立自尊の考え方で物事を進めていいのではないか。そして、分裂より統合、結果の平等よりはチャンスの平等を、常に政治や行政の仕組みの中でつくっていくことが本筋だと考えます。

成功事例としては、埼玉県はボランティアによる防犯団体数が日本一多く、住宅侵入犯には効果は絶大で、この６年で約70%近く減りました。このため警察は凶悪犯、強盗・殺人・放火等に力を注ぐことができ、検挙率が全国で46位から25位まで上がりました。

また、47都道府県の知事会が「先進政策大賞」というのを設けていますが、2,200の政策の中から埼玉県庁職員のアイディアによる「ホンダのカーナビを使った交通対策」が選ばれました。これはカーナビで急ブレーキを踏む回数をチェックすることで危険箇所を割り出し、交通対策を効果的に行うものです。県はお金を使っていないのに、絶大な効果を上げています。

商店街や商工会が有償ボランティアで地域を支える仕組みも、秩父のみやのかわ商店街からスタートして、今は20団体になりました。

創業・ベンチャー支援センターも成功事例のひとつで、お金をあげるのではなく、徹底して面倒をみて周囲で支える仕組みです。もう６年も経ちますが、1,200社のうち９割以上が存続しています。

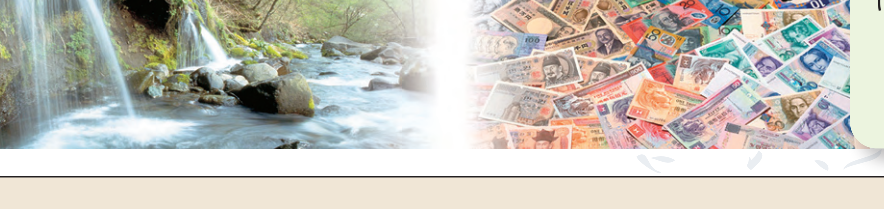
このように行政というのは、自らの力で支えることのできない人たちには徹底的に温かく手を差し伸べながらも、自立できるような仕組みを支えていく、ということです。そうしないと国は成り立たないし、日本の良さというのはそういうものができていたところにあります。これからも知恵と努力によって、自立自尊を促すような政策を行っていきます。

雇用創出のための中小企業支援について

厳しい経済環境下でも、経営革新計画承認企業では、一社あたり年間1.8人の雇用が生まれています。平成22年度より経営革新計画よりも手軽に取り組め、かつ経営革新にも寄与できる「チャレンジ経営宣言」制度を創設しました。そして、県職員56名で構成する企業支援チームを立ち上げ、県職員が専任担当者となってワンストップで相談対応できる体制を整えました。

今後は民間企業の実務担当者などで構成するサポートクラブを立ち上げ、より高度な支援体制にします。これにより、３年間で経営革新計画承認企業で2,700人、チャレンジ経営宣言企業で900人、合計3,600人の雇用創出を見込んでいます。

また県では、次世代自動車の分解部品を研究しながら、中小企業が新規参入の手掛かりを探る研究会を立ち上げたり、エコ住宅関連産業への新規参入を目指したプロジェクトを立ち上げ、具体的な支援を始めています。



中国船の日本巡視艇への衝突について

わが国の領土である尖閣諸島に侵入した中国の漁船を拿捕（だほ）、公務の執行を妨害した船長を逮捕した日本の行動は当然のことです。しかし、その後中国人船長を釈放したことは、「国内法に基づいて粛々と処理をする」と言明していた政府が、この原理原則をどうして変更したのかわかりません。

当然の逮捕に対して中国は日本人の拘束やレアアースの輸出規制などさまざまな圧力を掛けてきました。日本が船長を釈放して弱気の善意を示したら、今度は謝罪と賠償の要求というさらに強烈な悪意を返されました。圧力を掛ければ日本は折れると、中国をはじめ国際社会で思われたとすれば、今後のわが国の外交や安全保障に重大な影響を与えかねません。

事は日本の主権に関わる問題であり、原理原則を貫く強い姿勢としたたかな外交手腕が求められています。第二次大戦後の日米安保体制の下、アメリカに頼り切る中で、独自の外交戦略が欠落したのではないでしょうか。今回はこうした日本外交の未熟な姿が浮き彫りになったものであり、多くの国民が不信感を持ったと思います。政府は外交の再構築を図るべきでしょう。

日本の山林が危ない !!

森が、水が、国土が脅（おびや）かされる

11月24日、北海道議会で衝撃的な調査結果が発表されました。日本の森林の１/４を所有する北海道では、個人を含む海外資本による森林買収が行われ、現時点で33件・820ヘクタールの水源林が海外資本に買収されており、更に39,000ヘクタールもの森林が、所有者が分からない状態だそうです。

人口の爆発的増加と経済発展による水需要の増加、地球温暖化も相まって、世界は「水不足」に陥っています。黄河は干上がり、北京では1,000mも掘らねば井戸の水は出ません。世界中で水をそのまま飲める国は、たったの11カ国しかないといいます。今や世界は「水」を奪い合っています。

昨今「水」を輸出入する時代かと思っていたら、今や、「水」を産する「土地」ごと買収する時代に変化しています。手法は外資による企業買収や資本参加であり、買収されたダミー会社が森林を含む日本の国土を売買取引しています。武力を持ってすれば「侵略」だが、正式な商取引ゆえに現行法では押さえる術がありません。

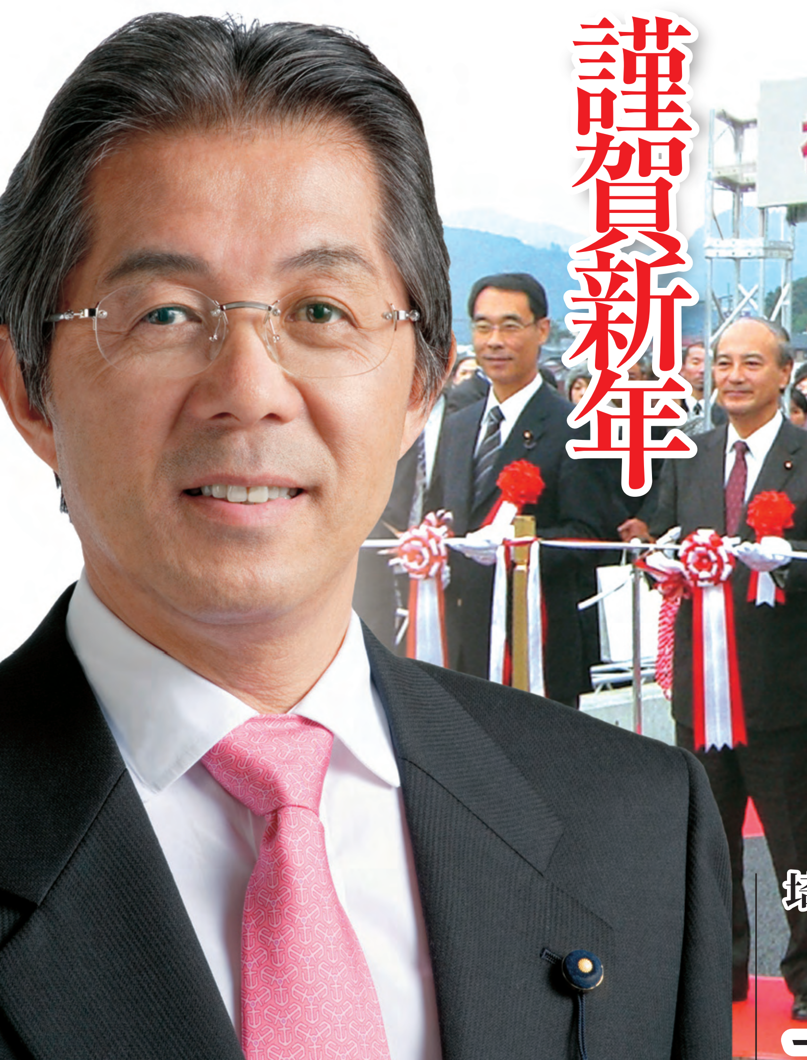
しかし将来、日本の川の水が干上がってしまうことも、ありうることです。これは由々しき安全保障の問題ではないでしょうか・・・？

埼玉県は、外資による水源地域の山林買収について緊急調査を行いました。調査は（1）聞き取り調査、（2）土地台帳による山林の所有者異動調査、（3）国土利用計画法に基づく土地取引事後届出調査、です。

これら調査の結果は、外資と確認できたものはなく、ダミーの会社かどうかまでは調査に限界があり、事実関係がはっきりしませんでしたが、聞き取り調査ではうわさがあること、また、転売目的等の取得が一部に確認されたことなどにより、調査を継続していく必要があると考えます。

今後は、所有者が買収に応じないよう、農林業・農山村振興ビジョンを構築して、利益を生む「伐って・使って・植えて・育てる」循環利用を図らなければなりません。

※ この件は北堀県議も懸念があり、知事及び国会議員に国の法整備を要望してきました。12月定例会にて、藤本正人県議（所沢市）が上記内容にて一般質問をされまして、まったく同見解であることより、藤本氏に了解を得て掲載させていただきました。



謹賀新年

埼玉県議会議員

北堀篤

Kitabori Atsushi

県政報告 Vol.28 討議資料

発行所 ： 北堀あつし事務所　　発行日 ： 2011年 1月 3日

埼玉県秩父市山田1294-1　　TEL 0494-24-6315

◆ 福祉保健医療常任委員会委員
◆ 公社事業対策特別委員会委員長
◆ 自民党埼玉県支部連合会副幹事長
◆ 自民党県議団総務会長

9月議会補正決定

一般会計補正予算 7億7,253万2千円

（既定予算との累計額 1兆6,833億9,384万3千円）

▶防災体制の整備

墜落事故により使用不能となった防災ヘリコプター「あらかわ1」の後継機を購入。

▶雇用対策・中小企業支援

若年未就職者・失業者に対し人材派遣会社と連携して、より充実した研修と職場紹介を一体的に行い、正規就職の拡大を目指す。

中小企業資金繰り支援のため、県の融資制度について信用保証協会に対する損失補償期間を５年間延長。

▶地域医療体制の充実

医療機関が共同利用する医療機器の整備。

新生児集中治療室から在宅医療への円滑な移行を促進するためのトレーニング病床の整備など。

県庁舎耐震化工事が完了します

建替えか耐震化か、議論のあった県庁舎ですが、知事は調査の結果、対応の早さ、経済性、居ながら施工、耐久性などから、建替えよりも耐震化の優位性が確認されたとし、現下の厳しい財政状況を踏まえ、耐震改修を英断されました。

■ 県庁舎整備構想調査検討における調査結果（耐震改修の優位性）

（1） スピード・・・耐震改修により早期に耐震Is値0.75以上を確保

（2） 経 済 性 ・・・既存庁舎を可能な限り活用する経済性の高い対応

（3） 省 エ ネ ・・・低層建物の利点を生かすとともに最新の省エネ設備に改修

（4） 継 続 性 ・・・外壁補強などの工法により工事期間中も庁舎の使用を継続

（5） 耐 久 性 ・・・コンクリートの状況から少なくとも今後20年以上の使用が可能

■ 耐震改修の経済性

建替えは耐震化の 8.4倍の費用が掛かり、20年先を想定しても 5.85倍の費用が必要。

	耐震改修	建　替	コスト比
初期費用	50億円	421億円	8.40倍
20年累積	94億円	553億円	5.85倍
35年累積	405億円	649億円	1.60倍

本 庁 舎	耐震　外部フレーム工法 耐震　増設架構工法
第二庁舎	制震　外部制震ブレース工法
第三庁舎	耐震　外部ブレース工法
職員会館	耐震　外部鉄骨ブレース工法
別　　館	耐震　内部ブレース工法
衛生会館	耐震　内部鉄骨ブレース工法
議 事 堂	耐震合格　Is値 0.75以上

本庁舎：耐震 外部フレーム／増設架構

第二庁舎：制震 外部制震ブレース

日本の祭りカレンダー

1 January 2011 平成23年

日	月	火	水	木	金	土
						1 先勝 元日 西方水かけまつり 福島県三春町
2 友引 招福祈願祭 千葉県南房総市	3 先負 寺野ひよんどり 静岡県浜松市	4 赤口 武射祭 栃木県日光市	5 先勝 百太夫神社祭 兵庫県西宮市	6 友引 六日祭 （花奪い祭り） 岐阜県郡上市	7 先負 大善寺玉垂宮鬼夜 福岡県久留米市	8 仏滅 勝部·住吉神社 火まつり 滋賀県守山市
9 大安 ホーランエンヤ 大分県 豊後高田市	10 赤口 成人の日 初め恵比寿祭り 栃木県真岡市	11 先勝 尼崎えびす神社 十日えびす大祭 兵庫県尼崎市	12 友引 青梅だるま市 東京都青梅市	13 先負 虚空蔵尊縁日 秩父市上宮地町	14 仏滅 藤木道祖神祭 山梨県塩山市	15 大安 さんりんぼう 道祖神の火祭り 長野野沢温泉村
16 赤口 破魔弓祭 熊本県長洲町	17 先勝 ヘトマト 長崎県五島市	18 友引 西宮神社例大祭 千葉県旭市	19 先負 門戸厄神厄除大祭 兵庫県西宮市	20 仏滅 湯かけ祭り 群馬県 川原湯温泉	21 大安 初弘法 京都市·東寺	22 赤口 パン祖のパン祭 静岡県 伊豆の国市
23 先勝 大安寺光仁会 30 友引 津島しらうお祭	24 友引 巣鴨とげぬき地蔵大祭 31 先負 下田水仙まつり	25 先負 初天神うそかえ祭 大阪府藤井寺市	26 仏滅 氷のぼんぼりと かまくら祭り 栃木県栗山村	27 大安 さんりんぼう 大雄山最乗寺大祭 神奈川県大雄町	28 赤口 鵜ばらい祭 静岡県 伊豆の国市	29 先勝 おおまち雪まつり 鹿島槍火まつり 長野県大町市

2 February 2011 平成23年

日	月	火	水	木	金	土
		1 仏滅 出雲大社福神祭 島根県大社町	2 大安 さが農業まつり 佐賀県佐賀市	3 先勝 ごもっともさま 三峯神社 秩父市大滝	4 友引 高松山観音寺 初寅祭 福島県本宮市	5 先負 鬼怒川温泉 鬼まつり 栃木県日光市
6 仏滅 松島かき祭り 宮城県松島町	7 大安 米川の水かぶり 宮城県登米市	8 赤口 北之幸谷の 獅子舞 千葉県東金市	9 先勝 あえのこと 石川県輪島市	10 友引 紙風船上げ 秋田県仙北市	11 先負 建国記念の日 十日町雪まつり 新潟県十日町市	12 仏滅 氷点下の森 氷まつり 岐阜県高山市
13 大安 さんりんぼう 鳥羽の火祭り 愛知県幡豆町	14 赤口 田の神祭り 岐阜県下呂市	15 先勝 平湯大滝 結氷まつり 岐阜県高山市	16 友引 横手のかまくら 秋田県横手市	17 先負 中里のカンデッコ あげ行事 秋田県仙北市	18 仏滅 大迫・宿場の 雛まつり 岩手県花巻市	19 大安 西大寺会陽 岡山県岡山市
20 赤口 茂名の里芋まつり 千葉県館山市	21 先勝 しだれ梅と椿祭り （2/18〜3/21） 京都市伏見区	22 友引 鳥ビシャ 千葉県柏市	23 先負 五大力尊仁王会 京都市伏見区	24 仏滅 楊本神社 春の大祭 高知県いの町	25 大安 さんりんぼう 宇納間地蔵尊大祭 宮崎県美郷町	26 赤口 左義長まつり 福井県勝山市
27 先勝 ひなせかき祭 岡山県備前市	28 友引 奥の宮不動神社 ぜんざい祭 福岡県福津市					

日本の祭りカレンダー

3 March 2011 平成23年

日	月	火	水	木	金	土
		1 先負 剣祭り 千葉県習志野市	2 仏滅 若狭·小浜の お水送り 福井県小浜市	3 大安 毘沙門堂 裸押合大祭 新潟県南魚沼市	4 赤口 東村つつじ祭り 沖縄県東村	5 友引 勝浦の春まつり 千葉県勝浦市
6 先負 美江寺まつり 岐阜県岐阜市	7 仏滅 鉢伏雪まつり 兵庫県養父市	8 大安 正鬼様祭り 新潟県阿賀町	9 赤口 祭頭祭 茨城県鹿嶋市	10 先勝 帆手まつり 宮城県塩釜市	11 友引 筑波山梅まつり (2/19〜3/21) 茨城県つくば市	12 先負 さんりんぼう 絵馬祭 茨城県笠間市
13 仏滅 山田の春祭り 秩父市山田	14 大安 涅槃会 京都市東山区	15 赤口 山中温泉涅槃会 石川県加賀市	16 先勝 扇森稲荷神社 狐頭さま 大分県竹田市	17 友引 早池峰神社 蘇民祭 岩手県花巻市	18 先負 長徳寺市 山口県光市	19 仏滅 花と緑ののいち 椿まつり 石川県野々市町
20 大安 彼岸市 島根県大田市	21 赤口 春分の日 熊野神社の神楽 千葉県旭市	22 先勝 川崎大師 正御影供 神奈川県川崎市	23 友引 春日神社祈年祭 山形県鶴岡市	24 先負 さんりんぼう 高塚愛宕地蔵尊祭 大分県日田市	25 仏滅 雛形祭 兵庫県明石市	26 大安 仙石原 湯立獅子舞 神奈川県箱根町
27 赤口 鎌数の神楽 千葉県旭市	28 先勝 尊徳和太鼓まつり 栃木県真岡市	29 友引 高清水互市 宮城県栗原市 （二日間）	30 先負	31 仏滅 吉野梅郷梅まつり 東京都青梅市		

4 April 2011 平成23年

日	月	火	水	木	金	土
					1 大安 桜まつり 千葉県茂原市	2 赤口 取香の三番叟 千葉県成田市
3 先負 成田山花まつり 千葉県成田市	4 仏滅 御田植祭 秩父神社 秩父市番場町	5 大安 流しびな 鳥取県鳥取市	6 赤口 八重干瀬まつり 沖縄県宮古島市	7 先勝 青柴垣神事 島根県松江市	8 友引 信玄公祭り 山梨県甲府市	9 先負 さんりんぼう 大聖寺桜まつり 石川県 加賀市
10 仏滅 さくら祭り 武者行列 群馬県甘楽町	11 大安 糸魚川けんか祭り 新潟県糸魚川市	12 赤口 南部町桜まつり 鳥取県南部町	13 先勝 野沢温泉の 道祖神祭り 長野県野沢温泉村	14 友引 高山祭 岐阜県高山市	15 先負 お走り祭り 兵庫県養父市	16 仏滅 成田太鼓祭 千葉県成田市
17 大安 分水 おいらん道中 新潟県燕市	18 赤口 桃花祭神能 広島県廿日市市	19 先勝 古川祭 岐阜県飛騨市	20 友引 きみまち阪 桜まつり 秋田県能代市	21 先負 さんりんぼう 伊弉諾神宮春祭 兵庫県淡路市	22 仏滅 古例大祭 滋賀県多賀町	23 大安 宝達山開山祭 石川県 宝達志水町
24 赤口 能生白山神社 春季大祭 新潟県糸魚川市	25 先勝 船上山さくら祭り 鳥取県琴浦町	26 友引 荻神社 ゆたて神楽 大分県竹田市	27 先負 どぶろく祭り 長野県茅野市	28 仏滅 日高火防祭り 岩手県奥州市	29 大安 昭和の日 熊倉山山開き 秩父市荒川	30 赤口 愛宕神社例大祭 福島県伊達市

秩父市の県が係わる主な公共事業のご紹介

凡例
《事業名》・・・秩父県土整備事務所 事業
《事業名》・・・秩父農林振興センター 事業

新皆野橋（全景）

秩父児玉線との交差点

いつも赤なたと共にともに考えともに行動！

丘陵部　法面工事

丘陵部（仮称）３号橋

《一般国道140号皆野秩父バイパス》

▶路線名：一般国道140号皆野秩父バイパス
▶事業箇所：皆野町皆野（国道140号）から秩父市蒔田（国道299号）
▶総事業費：146億円
▶事業概要：
延長＝4.9km
幅員＝全体幅員16.5mのうち暫定２車線8.0m

▶事業着手：
平成14年度（国道140号から県道吉田久長秩父線までの4km）

▶事業経過：
平成15年度：新皆野橋用地買収着手
平成16年度：新皆野橋工事着手
平成17年度：丘陵部用地買収着手
平成19年度：延伸部0.9kmを事業化し事業延長4.9kmとなる
平成20年度：丘陵部工事本格化　３号橋、４号橋施工
平成21年度：延伸部用地測量実施
平成22年度：10月24日　新皆野橋（ランプ橋）開通
開通区間　国道140号から県道秩父児玉線まで
延長0.7kmうち橋梁部489m
道路構造　全幅12m　車道２車線（6.5m）片側歩道（3.5m）

《社会資本整備総合交付金事業》

▶事業実施年度：平成4～27年度
▶河川名：蒔田川
▶事業箇所：蒔田地内
▶事業概要：延長＝4,448m
・平成22年11月現在、改修工事が3,348m完成した。

《地方特定道路整備工事》（荒川）

▶事業実施年度：平成元年度～
▶路線名：主要地方道皆野寄居秩父線
▶事業箇所：荒川贄川
▶事業概要：延長＝2,285m
幅員＝6.0（10.0）m
・（仮称）贄川2号橋（L=175m）の下部工が完成し、今後、上部工（桁部）を建設する。

交流施設「花見の里」とそばの花

《山村等振興対策の推進》（荒川）

▶事業実施年度：平成18～19年度
▶総事業費：100,000千円
うち国県費　50,000千円
▶事業概要
・そばをテーマにした地域振興施設整備
・地域食材供給施設1棟ほか整備
・バイオマストイレ、駐車場整備

《「豊かなむらづくり全国表彰」で農林水産大臣賞受賞（平成21年度）》

▶秩父市吉田地区の「布里田中の地域資源を保全する会」が、平成21年度豊かなむらづくり全国表彰で農林水産大臣賞を受賞。
ブルーベリー観光農園の開設、フルーツ街道振興協議会の活動、幹線道路の景観維持などに取り組み、住民参加による美しいむらづくり活動が評価された。

《野性鳥獣害対策の推進》

▶事業実施年度：平成21年度～
▶事業費：10,570千円
▶事業概要
・平成21年7月、広域組織の「秩父地域鳥獣害防止対策協議会」を設立。
・平成２２年度、有害動植物防除等体制整備促進事業（国庫事業）を導入。

《山村等振興対策の推進》（大滝）

▶事業実施年度：平成17～19年度
▶総事業費：78,000千円
うち国県費39,000千円
▶事業概要：三峰神社表参道玄関口の散策路設置やシャクナゲ植栽による整備。
・林道大血川線に沿ってモミジを植栽による三峰公園周辺整備。
・大血川地区観光トイレ整備。

《森林整備加速化・林業再生事業》

▶事業実施年度：平成21年度
▶事業費：55,800千円
補助金：27,900千円
▶事業概要
・間伐材等を効率的に搬出するために、森林組合等の林業事業体が整備する高性能林業機械等の導入に対し助成する。
▶事業効果：素材生産量の増大

高性能林業機械による伐採と素材搬出

▶秩父広域森林組合
ハーベスタ、スイングヤーダ、フォワーダ　各1台
・事業費：40,500千円
・補助金：20,250千円
▶木村木材工業(株)
グラップル付バックホー　1台
・事業費：15,300千円
・補助金：　7,650千円

《交差点整備事業》（相生町交差点）

▶事業実施年度：平成17～23年度
▶路線名：一般国道299号
▶事業箇所：相生町地内
▶事業概要：延長＝130m　幅員＝15m
・変則的な５差路のため交通渋滞の一因。歩道整備事業、右折帯設置を行い、交通事故の削減と交通渋滞の緩和を図る。

《歩道整備事業》（吉田）

▶事業実施年度：平成20～21年度
▶路線名：下小鹿野吉田線
▶事業箇所：下吉田
▶事業概要：延長＝206m
歩道幅員＝1.5m
・吉田小学校の通学路が危険であったため歩道を整備し、児童の安全を図った。

《交通安全施設整備事業》（荒川）

▶事業実施年度：平成15～23年度
▶路線名：一般国道140号
▶事業箇所：荒川上田野
▶事業概要：延長＝900m　幅員＝3.5m
・荒川東小学校・荒川中学校の通学路だが、交通量が多く危険であるため、児童・生徒の安全を図るものである。

侵入竹の伐採・整理前（田村）

侵入竹の伐採・整理後（田村）

《彩の国みどりの基金事業（里山再生事業による森林に侵入した竹の伐採）》

▶事業実施年度：平成20～23年度
▶総事業費：57,072千円（平成20～22年度）
▶事業概要
・森林に侵入したタケを県が伐採し、その後の管理を地域の方々が協働で行っていくことで、景観の保全や森林の公益的機能の向上を図ります。

《山村等振興対策の推進》（吉田）

▶事業実施年度：平成20～22年度
▶総事業費：29,800千円
うち国県費19,767千円
▶事業概要：高齢者生産活動センターの充実
・さつまいもの保存庫の整備
・加工品の出荷調整用冷凍庫の整備
・布里田中地区の農道舗装

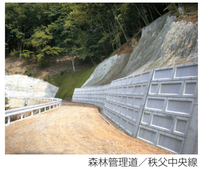
森林管理道／御岳山線

《森林管理道整備事業》

▶事業実施年度：平成19～22年度
▶総事業費：1,189,093千円
うち国費　626,534千円
県費　562,559千円

森林管理道／御岳山線

▶事業概要
・森林管理道整備事業を進めます。
平成19年度 43か所　364,133千円
平成20年度 27か所　278,454千円
平成21年度 34か所　287,061千円
平成22年度計画 24か所　259,445千円


森林管理道／秩父中央線

▶完成した開設路線
・平成19年度　森林林管理道御岳山線開通
工事期間　昭和61年度～平成19年度
総事業費　3,415,892千円
区間　14,178m（内秩父市管理1,182m）
秩父市大滝～秩父市荒川贄川
一部小鹿野町両神小森地内（540m）を通過

《地方特定道路（改築）整備事業》

▶事業実施年度：平成6～22年度
▶路線名：主要地方道秩父児玉線
▶事業箇所：小柱・蒔田地内
▶事業概要：延長＝900m
幅員＝6m（歩道含11m）
・皆野秩父バイパス小柱ICの完成に合わせH22年10月24日、全線が開通した。

《交差点整備事業》（黒谷六地蔵）

▶事業実施年度：平成16～19年度
▶路線名：一般国道140号
▶事業箇所：黒谷地内
▶事業概要：延長＝255m　幅員＝16.5m
・交通事故多発地点の交差点に右折帯の設置を行い、交通事故の削減と交通渋滞の緩和を図る。

《水辺再生100プラン推進事業》

▶事業実施年度：平成20～22年度
▶河川名：一級河川　荒川
▶事業箇所：金室町
▶事業概要：延長＝1,000m
・関係機関及び地元を含めた委員会にて策定した整備計画に基づき、親水護岸などを整備した。

《地方道路交付金整備事業》（大滝）

▶事業実施年度：平成17～20年度
▶路線名：中津川三峰口停車場線
▶事業箇所：中津川
▶事業概要：延長＝82.3m　幅員＝7.0m
・本事業により大滑ロックシェッドが完成

針広混交林の造成（滝沢）

広葉樹の植栽・獣害防護柵の設置（中津川）

《彩の国みどりの基金事業（水源地域の森づくり事業による森林整備）》

▶事業実施年度：平成20～23年度
▶総事業費：959,848千円（平成20～22年度）
▶事業概要
・秩父市にある5つのダム（浦山、二瀬、滝沢、合角、下久保）上流域の森林において間伐や広葉樹植栽、獣害防護柵の設置などの森林整備を行っています。
・平成22年度から一般競争入札の試行を実施し、新たな担い手の参入を図りました。

《林業の再生、雇用の確保》

▶平成22年度：12名新規雇用
▶委託金額：35,563千円
▶事業概要
・新たに林業就業を希望する失業者に対して、刈払い、林内整理、間伐補助等を行う林業の実践研修を行い、基本技術及び知識を習得させる。

《県営中山間総合整備事業》

▶事業実施年度：平成16～21年度
▶総事業費：310,000千円
うち国費　170,500千円
県費　93,000千円
▶事業概要
・実施箇所：下時田地区
・中山間地域の農業生産基盤整備

《県営中山間総合整備事業》（吉田）

▶事業実施年度：平成20～24年度
▶総事業費：352,000千円　うち国費193,600千円、県費105,600千円
▶事業概要　・実施箇所：鬼田暮坪地区
・中山間地域の農業生産基盤整備
・新規に企業が２社参入
・秩父在来大豆「借金なし」を栽培

《農業集落排水事業》

▶事業実施年度：平成17～21年度
▶総事業費：782,000千円
うち国県費391,000千円
▶事業概要
・実施箇所：別所巴川地区
・農業集落における下水道の整備
▶事業効果：別所巴川地区の生活環境改善

《交差点整備事業》（蒔田交差点）

▶事業実施年度：平成19～22年度
▶路線名：一般国道299号
▶事業箇所：蒔田地内
▶事業概要：延長＝360m　幅員＝16m
・右折帯や歩道の設置を行い、交通渋滞の緩和や交通事故の削減を図る。
（平成23年3月完成予定）

《地域活性化臨時交付金整備工事》

▶事業実施年度：平成19～23年度
▶路線名：熊谷小川秩父線
▶事業箇所：栃谷地内
▶事業概要：延長＝500m　幅員＝10m
・現況幅員5mの道路を、片側歩道2.5mの付いた道路として整備する。
完成は平成23年度中を予定。

《社会資本整備総合交付金》

▶事業実施年度：平成16～23年度
▶路線名：主要地方道秩父荒川線
▶事業箇所：久那地内
▶事業概要：延長＝540m　幅員＝10m
・狭隘な道路を、片側歩道2.5mの付いた２車線とし、大型車がすれ違えることのできる道路とした。

《社会資本整備総合交付金》

▶事業実施年度：平成6～26年度
▶路線名：主要地方道長瀞玉淀自然公園線
▶事業箇所：栃谷地内
▶事業概要：延長＝1,100m　幅員＝10m
・延長220mの区間は、片側歩道2.5mが付いた２車線道路として平成22年3月完成。
今後、未整備区間の延伸を図る。

《水辺再生100プラン推進事業》

▶事業実施年度：平成20～22年度
▶河川名：赤平川・吉田川
▶事業箇所：下吉田
▶事業概要：延長＝670m
・水辺の賑わいを創出するため、護岸工、憩いの広場等を整備する。
・平成22年度中に完成予定

《急傾斜地崩落対策事業》（大滝）

▶事業実施年度：平成16～21年度
▶路線名：上中尾急傾斜地
▶事業箇所：大滝地内
▶事業概要：延長＝188m
・本事業により落石防護壁工188mが完成

《秩父在来大豆「借金なし」が大きな話題に》

▶概要：秩父在来大豆借金なし生産組合（生産者５名）他により、約４ha栽培されています。
▶経緯：平成21年／「在来大豆借金なし商品開発促進協議会」を設置。
平成22年／実需者２社がケーキ、スナック菓子などを開発・販売開始。
宇宙大豆プロジェクトに参加。借金なし大豆50粒がNASAから国際宇宙ステーション「きぼう」へ送られ保管中。
▶「借金なし」は平成23年2月に地球に帰還後、秩父農工科学高等学校において観察栽培や増殖を経て、数年後には、商品開発促進協議会と連携し商品開発に取り組みます。

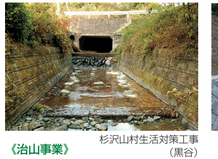
都市住民による栽培・収穫体験

《第60回埼玉県植樹祭》

▶実施年月日：平成21年5月30日（土）
▶事業概要
・場所：秩父ミューズパーク
・参加規模：1,200人
▶特記事項
・秩父市内の幼稚園児80人が、園内でドングリから育てたクヌギの木140本を植えた。

《NPO法人秩父農工森づくりの会記念植樹祭》

▶実施年月日：平成22年5月29日（土）
▶事業概要
・場所：寺尾地内　秩父市市有地
・来賓：上田知事、北堀県議、岩崎県議、秩父市長、横瀬町長、皆野町長、長瀞町長、小鹿野町長、秩父農工校長
・参加者：会員、地元小中学生、秩父農工生徒等210名



《治山事業》

▶事業実施年度：平成19～22年度
▶総事業費：1,032,825千円
うち国費390,572千円　県費642,253千円
▶事業概要
・山地災害を防ぐため、治山事業を進めます。
平成19年度 31か所　196,560千円
平成20年度 29か所　228,609千円
平成21年度 24か所　251,580千円
平成22年度計画 24か所　356,077千円

杉沢山村生活対策工事（黒谷）

常光寺沢予防治山工事（山田）

▶主な事業箇所
・常光寺沢予防治山工事（山田）
事業費：38,504千円
・杉沢山村生活対策工事（黒谷）
事業費：661千円
・落倉山村生活安全対策工事（荒川日野）
事業費：4,200千円
・安谷川奥地保安林緊急対策（荒川日野）
事業費：11,571千円